取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DIGITAL

470～710MHz（UHF帯:ch.13～52）対応

DIGICATCH Flat

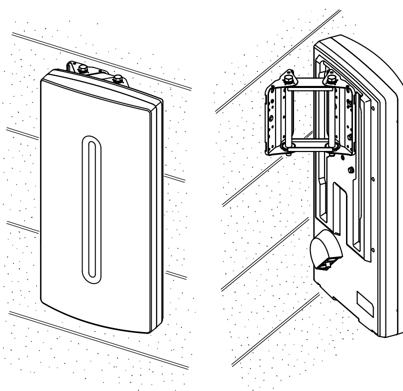
地上デジタル放送用平面アンテナ

［水平・垂直偏波共用、出力75Ω（F形座）仕様］

UAH900

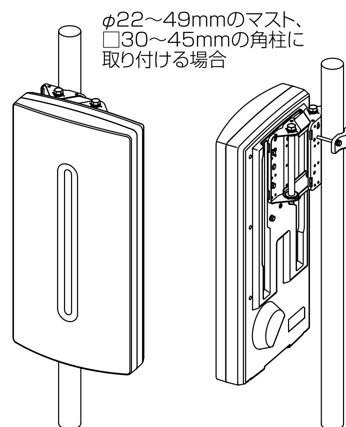


壁面に取り付けるとき



マストや角柱に取り付けるとき

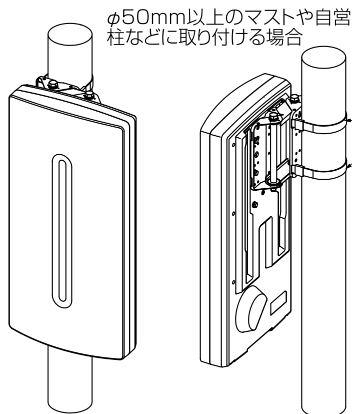
φ22～49mmのマスト、
□30～45mmの角柱に
取り付ける場合



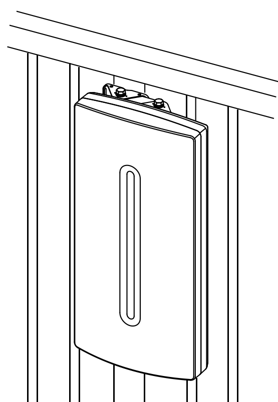
イラストはマストで代用していますが、
角柱の場合も同様に取り付けてください。

ステンレスバンドで取り付けるとき

φ50mm以上のマストや自営
柱などに取り付ける場合

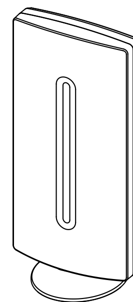


ベランダに取り付けるとき



スタンドで使用するとき

屋内に設置する場合
（水平偏波受信のみ）



製品の特長

- 従来の家庭用25素子アンテナと同等の、高性能な地上デジタル放送受信用平面アンテナです。
- 地上デジタル放送で主に使用されているチャンネル（ch,13～52）に特化し、優れた威力を発揮します。
- 水平、垂直の両偏波受信対応で、ケーブル接続・引き回しが容易な背面出力端子を採用。壁面取付時でも水平偏波受信時の方位角可動範囲は左右各60度で、電波到来方向への最適な角度で設置できます。
- 取付金具は、壁面だけでなくマスト（φ22～49mm）や角柱（30×30mm～45×45mm）、市販のステンレスバンドにも対応した多用途設計で、アンテナの突出をおさえた設置が可能です。
- 水平偏波受信、垂直偏波受信、屋外、屋内のそれぞれの設置に対応しています。（付属スタンドは水平偏波設置専用です。）
- 樹脂ケースで覆われたアンテナ部には直接の積雪がなく、性能劣化が少ない構造です。
- 先端加工不要で抜け落ち防止の防水キャップを採用し、取り付けが容易です。
- 土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアーした製品です。

安全上のご注意

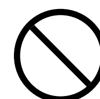
	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

 **警告** この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

● アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

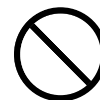


● 次のような場所には設置しないでください。
<アンテナ>
・送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
　アンテナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。
・人や車両の通行の妨げになる場所
　人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
・地盤の弱い場所、強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所
　落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
・煙突の付近や高温になる場所
　火災の原因となります。



● 設置やお手入れ、点検をする際には、次のことにご注意ください。
・高所などでは、足場と安全を確保して行なってください。
　落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
・組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
　落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
・風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。
　落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
・アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。
　けがの原因となります。
・アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。
　感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



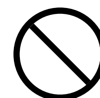




● 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。



● この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。火災・感電の原因となります。電源コード、同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

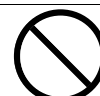


 **注意** この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



● アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。
また、上に乗らないでください。
倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。



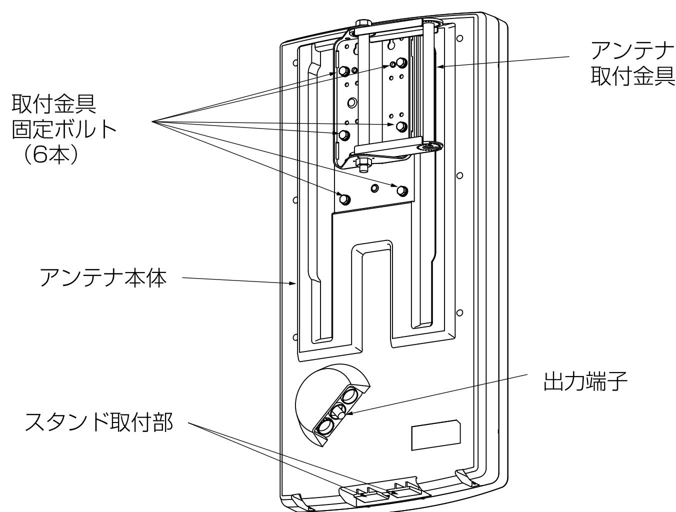
● マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。



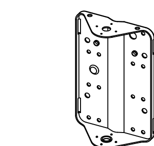
お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 壁面やマスト、ベランダ等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。

各部の名称



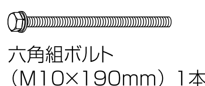
付属品



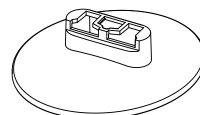
壁面·マスト取付金具
1個



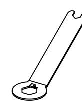
マスト押え金具
1個



六角組ボルト
（M10×190mm）1本



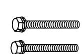
スタンド（水平偏波受信用）
1台



スパナ　1本



防水キャップ
1個



六角組ボルト
（M6×60mm）2本

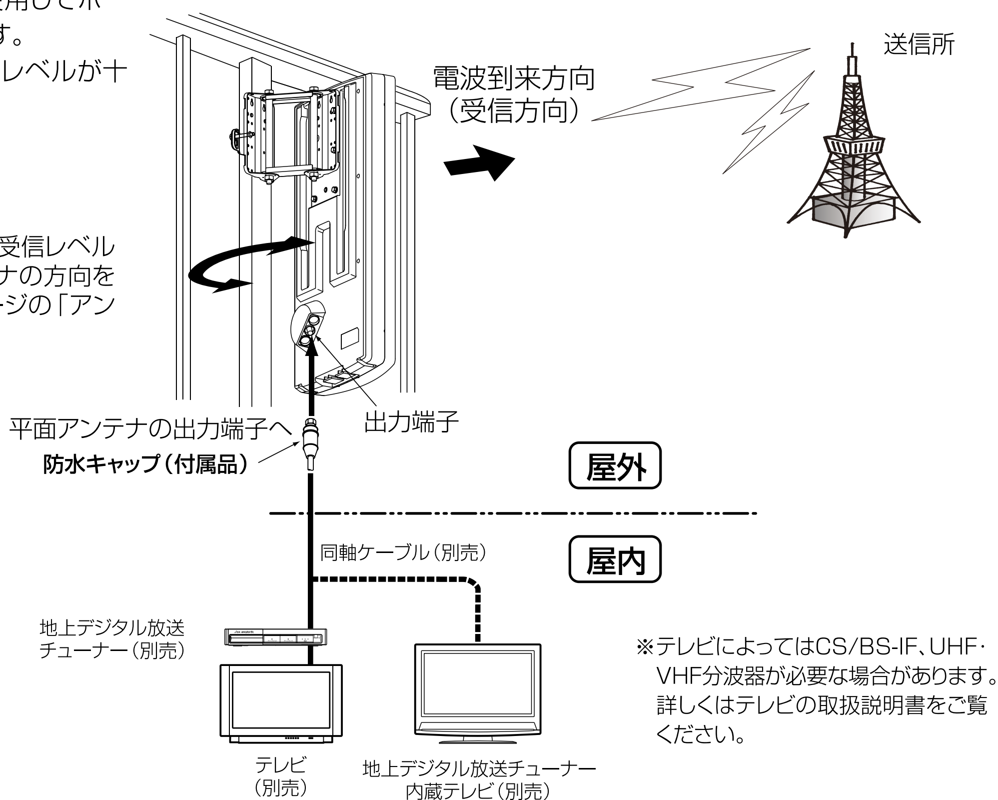
使用例

平面アンテナの設置作業をはじめる前に、受信する電波の到来（送信所）方向を確認して、受信できる設置場所をお選びください。
設置場所と電波到来方向の確認は3ページを、取付方法は4ページを、接続方法は7ページをご覧ください。

①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナーまたはテレビのアンテナ入力端子を同軸ケーブル（別売）で接続してください。

②地上デジタル放送チューナーまたは地上デジタルチューナー内蔵テレビのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナーまたは地上デジタルチューナー内蔵テレビの取扱説明書をご覧ください。）

- 別売のブースターや分配器を使用してホーム共同受信をすることができます。（3ページ参照、アンテナの受信レベルが十分にあることが必要です。）



※テレビによってはCS/BS-IF、UHF·VHF分波器が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

使用例のつづき

● 別売のブースターや分配器を使用してホーム共同受信をすることができます。
（アンテナの受信レベルが十分にあることが必要です。）

（注1）別売のBS･110度CSアンテナやブースターをご使用時は、混合器や分配器は通電仕様のものをお使いください。
（注2）旅行などで長期間テレビを見ない時は、ブースター付属電源部のプラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
（注3）平面アンテナ（または分配器･ブースターの電源部）とチューナー･テレビの間にCS/BS-IF、UHF･VHF分波器が必要な場合があります。

※接続する機器の使用方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

受信偏波とアンテナの取付け向き

①受信する電波の到来方向（地上デジタル放送の送信所の位置）と電波が水平偏波か垂直偏波か偏波面を確認します。
お買い求めの販売店にお問い合わせください。
②電波の偏波面に合わせてアンテナの取付向きを変えます。（出荷時、取付金具は水平偏波受信用となっています）
4ページの「アンテナの取付け向きをかえる（アンテナ取付金具の取はずしと取付け）」を参照してアンテナ背面の取付金具を付け変えてください。

〈アンテナの取付け向き〉

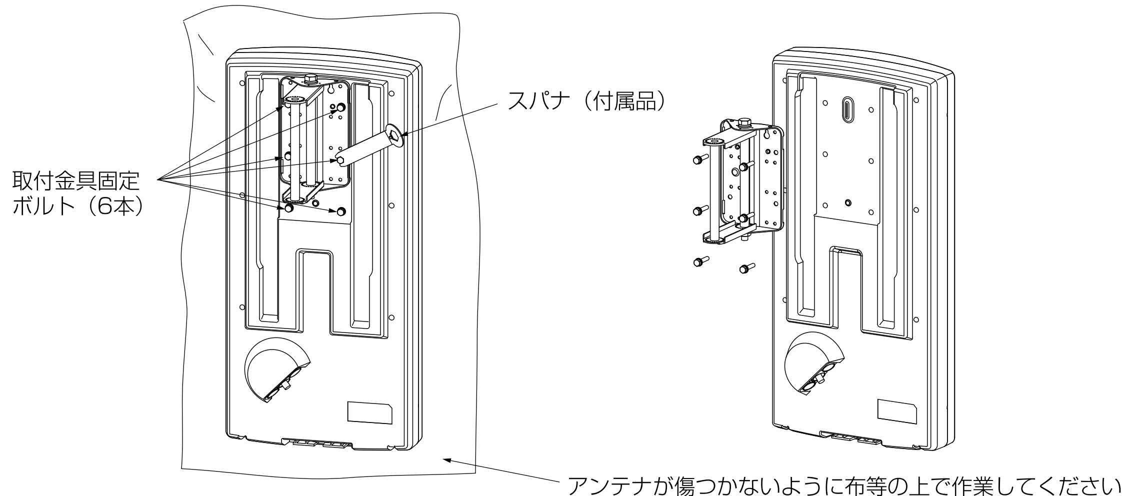
アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。

受信電波についてはwebサイトで確認することができます。
● 社団法人　デジタル放送推進協会［Dpa］http://www.dpa.or.jp/
「地デジの放送エリアのめやす」をご覧ください。
● 総務省　各地域の総合通信局のホームページをご覧ください。
弊社のホームページ　http://www.dxantenna.co.jp/
リンク集に「行政・各地方総合通信局」がございます。
ご利用ください。

アンテナの取付け向きをかえる（アンテナ取付金具の取はずしと取付け）

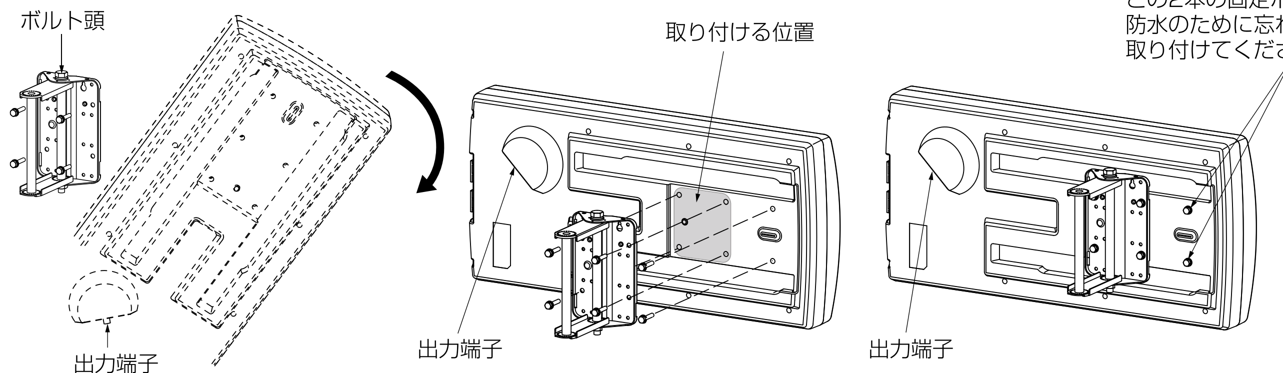
①アンテナ本体背面の取付金具固定ボルト6本を付属のスパナを用いてゆるめ、取付金具を取りはずします。

水平偏波受信時のアンテナの向き（出荷時）



②アンテナ本体の向きを90度回転させてから、はずした取付金具を付け直します。このとき、取付金具のボルト頭が上側に出力端子が下側になるように取り付けてください。

垂直偏波受信時のアンテナの向き



アンテナの取付方法

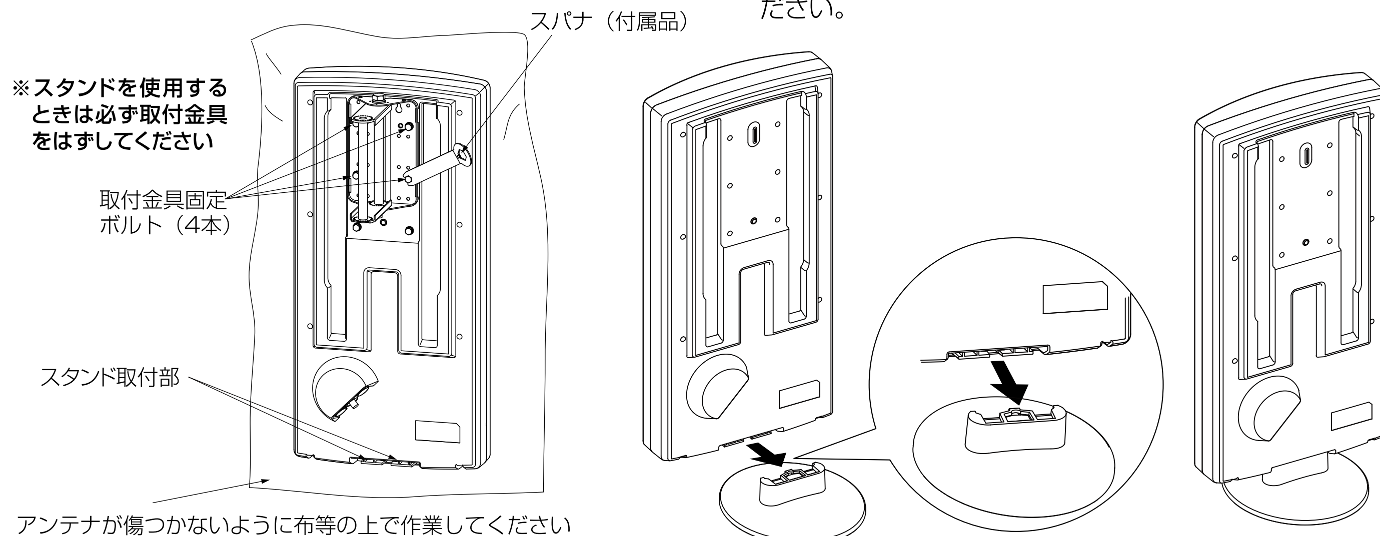
平面アンテナを取り付ける前に、電波が受信できることをあらかじめご確認ください。

屋内設置

〈スタンドの取付け〉

①取付金具固定ボルト4本を付属のスパナでゆるめて、取付金具全体を取りはずしてください。（取付金具とボルト、スパナは保管しておいてください。）

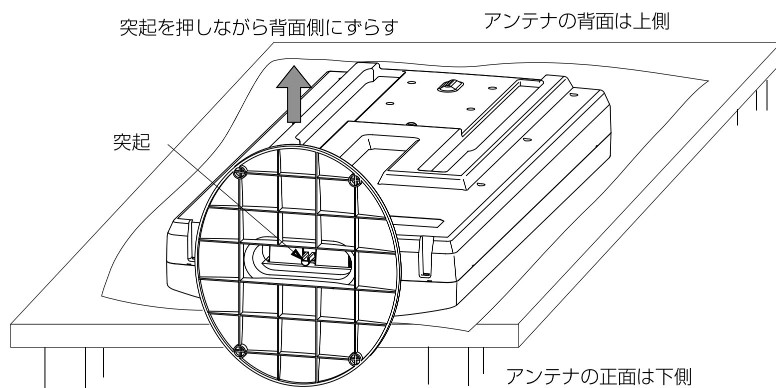
②アンテナ本体底面のスタンド取付部が付属のスタンドのガイドに沿うように、アンテナの背面側からはめ込みます。スタンドはストッパーがカチッとはまるまで奥に入れてください。



アンテナの取付方法のつづき

〈スタンドの取りはずし〉

スタンドをはずすときは、スタンド底面の突起をアンテナ側に押してください。突起を押しながらスタンドをアンテナ背面側にずらすとストッパーがはずれて、スタンドをアンテナからはずすことができます。



机など台に乗せて、アンテナが傷つかないように布等の上で作業してください

転倒防止のために

次のような所に設置してください。
・水平な場所
・設置面が堅く、安定した場所
・振動がない場所
- カーペット、敷布の上など設置面が軟らかい、不安定な所や万一地震等で倒れたときに怪我する恐れのある就寝場所の近くなどに設置しないでください。
- この製品の上に物を置かないでください。

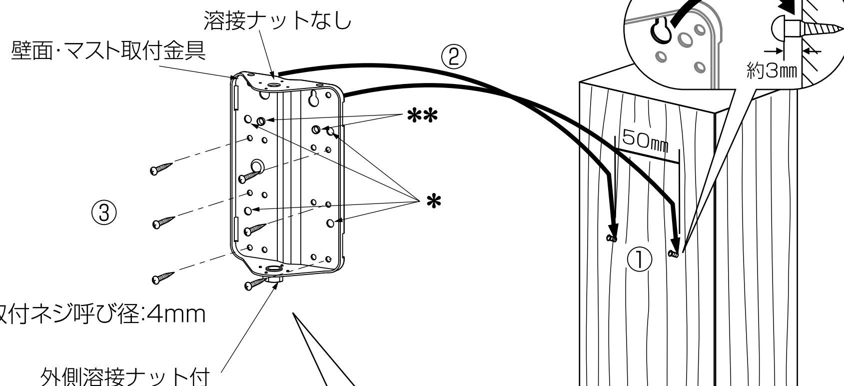
屋外設置

平面アンテナを取り付ける前に、電波が受信できることをあらかじめご確認ください。

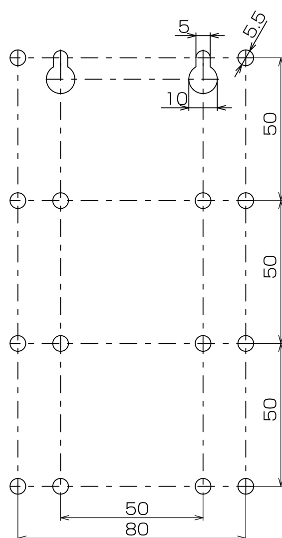
手順 1 はじめに、付属の壁面・マスト取付金具を固定し、その後アンテナ本体を取り付けます。

〈壁面に取り付ける場合〉

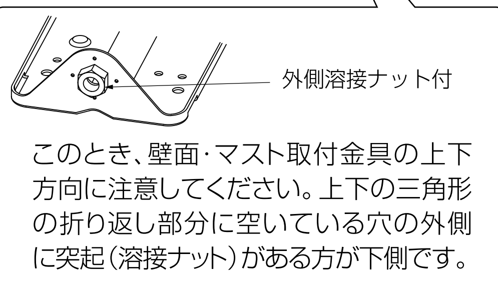
①市販の木ネジなど2本をネジ頭が3mm程度出た状態に取り付けます。
②木ネジに付属の壁面・マスト取付金具を引っ掛け、木ネジを締め付けます。
③他の穴も利用して、壁面・マスト取付金具を6か所以上木ネジなどで壁面に強固に固定します。



壁面・マスト取付金具の木ネジ穴ピッチ図



単位:mm



このとき、壁面・マスト取付金具の上下方向に注意してください。上下の三角形の折り返し部分に空いている穴の外側に突起(溶接ナット)がある方が下側です。

(注)十分な強度のある壁面に取り付けてください。

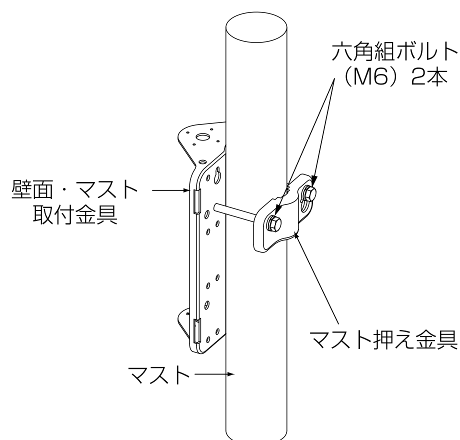
*印と**印の取付穴は六角ボルトM6用です。

※イラストでは板壁と木ネジで説明していますが、取付金具の穴に合う、壁面の材質に適したネジ類をご使用ください。詳しくは工務店にお問い合わせください。

アンテナの取付方法

〈マスト／角柱に取り付ける場合〉

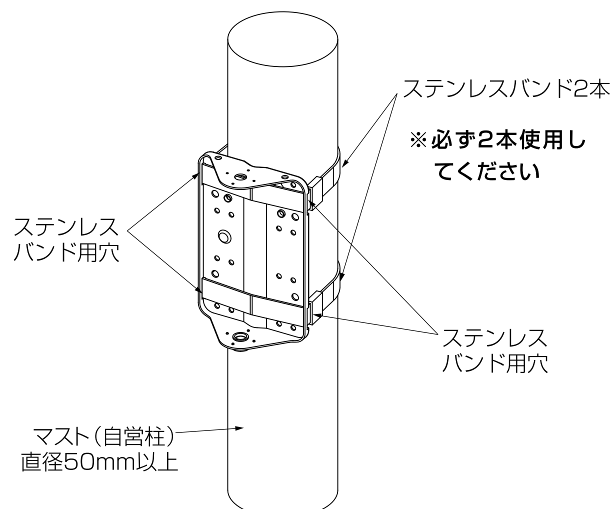
付属のマスト押え金具と壁面･マスト取付金具とでマストを挟み込み、六角組ボルト（M6）2本で左右均等に締め付け固定します。



直径22～49mmのマスト、30×30mm～45×45mmの角柱に取り付けることができます。
イラストはマストで代用していますが、角柱の場合も同様に取り付けてください。

〈市販のステンレスバンドで取り付ける場合〉

ステンレスバンド用穴4か所にステンレスバンドを2本かけてマストに固定します。

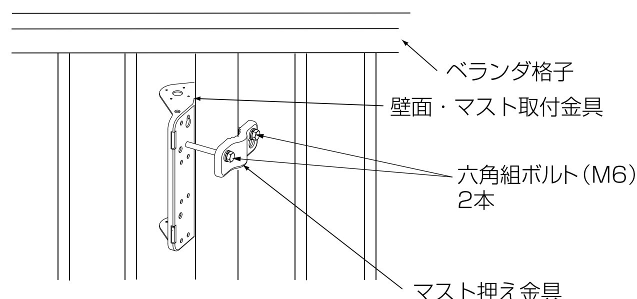


適合ステンレスバンド幅：20mm以下

〈ベランダ格子に取り付ける場合〉

図のように、ベランダ格子の太さ直径22～49mm、または30×30mm～45×45mmの角柱部分を壁面マスト取付金具とマスト押え金具とで挟み込み六角組ボルト（M6）2本で左右均等に締め付け固定します。

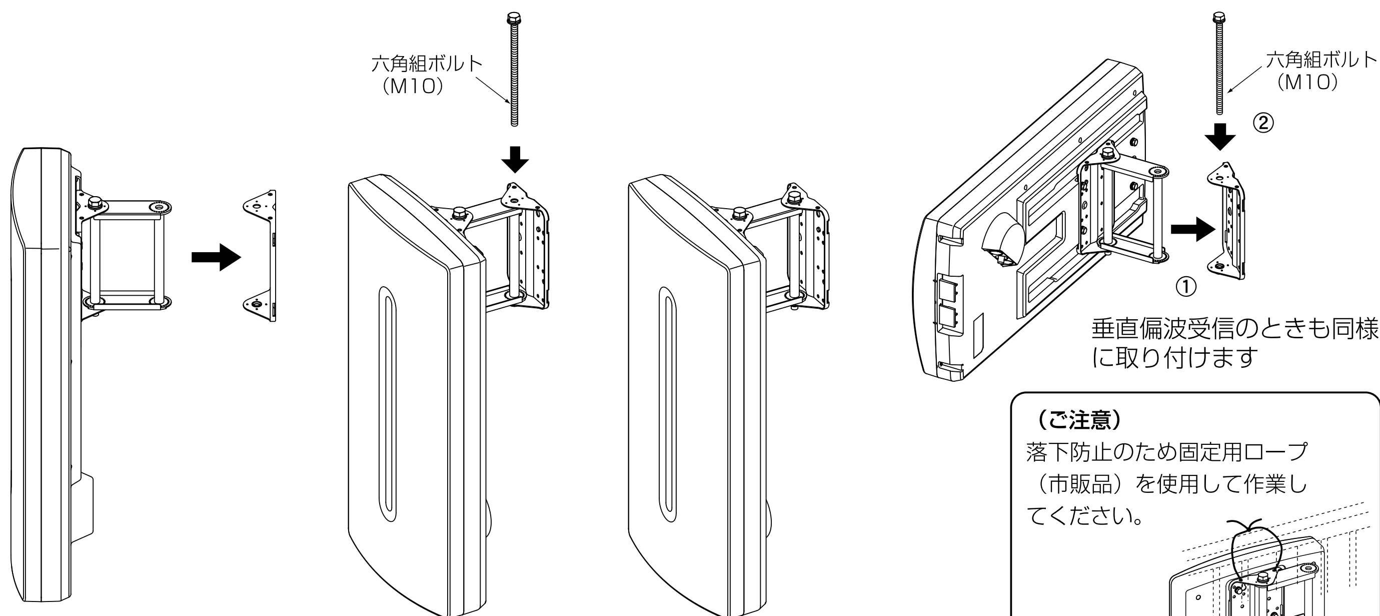
六角組ボルト（M6）締付トルク　4～5N･m



手順2　固定した壁面・マスト取付金具にアンテナ本体を取り付けます。

〈アンテナ本体を壁面･マスト取付金具へ取り付ける方法〉

①先に取り付けた壁面･マスト取付金具の上下穴に平面アンテナ背面の取付金具の上下穴を合せます。両方の金具が平行になるようにアンテナ側取付金具を差し込みます。
②下側の穴どうしがはまったところで、六角組ボルト（M10）を上側の穴から通して付属のスパナで仮止めします。

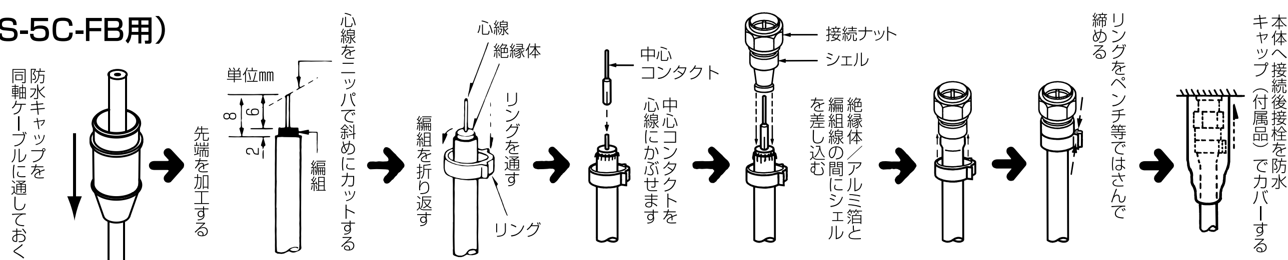


防水キャップ（付属品）使用時の同軸ケーブルと接栓の接続方法

〈F-5SN接栓（別売）への同軸ケーブル（別売）の接続方法〉

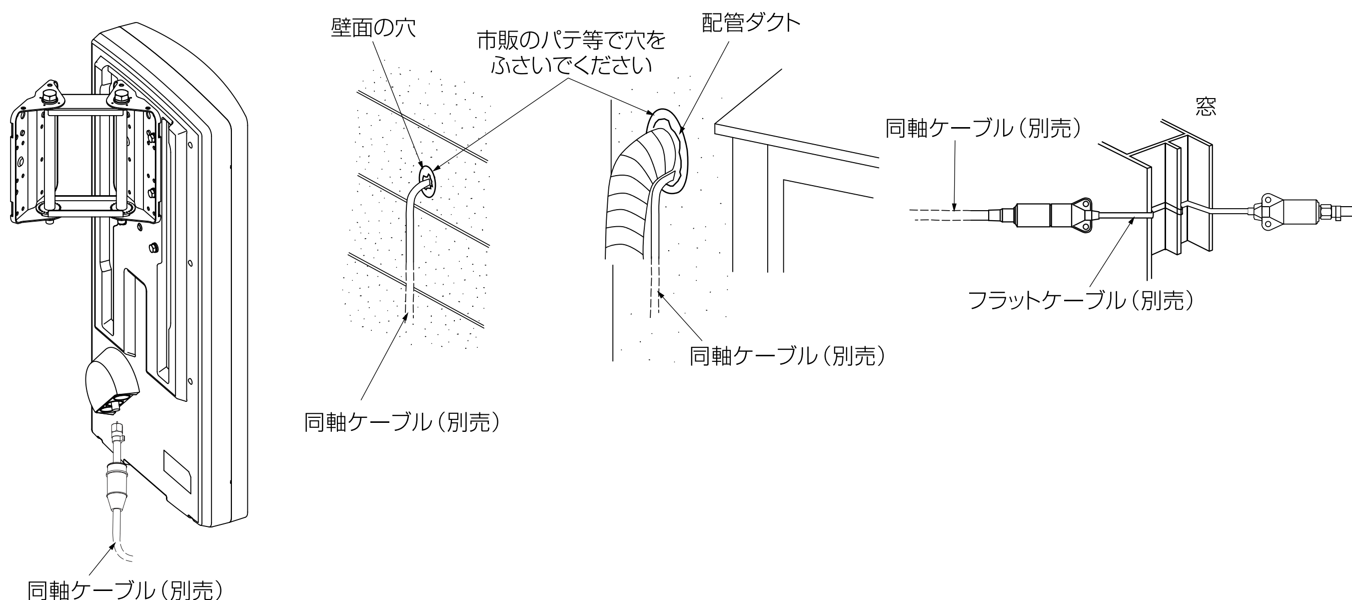
5C相当同軸ケーブルにF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。

（S-5C-FB用）



- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。

屋内へのケーブルの引込方法

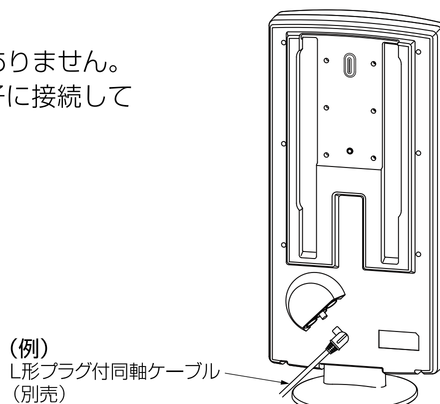


アンテナ本体への同軸ケーブル（別売）の接続方法

〈屋内で使用する場合〉

- 屋内で使用する場合は、付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- 別売のF形接栓加工済の同軸ケーブルをアンテナ本体の出力端子に接続して使用してください。

（注）接続後は、引っ掛けないように同軸ケーブルの引き回しに注意して配線処理をしてください。
差込式プラグの場合、長期間使用すると自然に抜け落ちることがありますので、時々接続状態をたしかめてください。



アンテナ本体への同軸ケーブル（別売）の接続方法のつづき

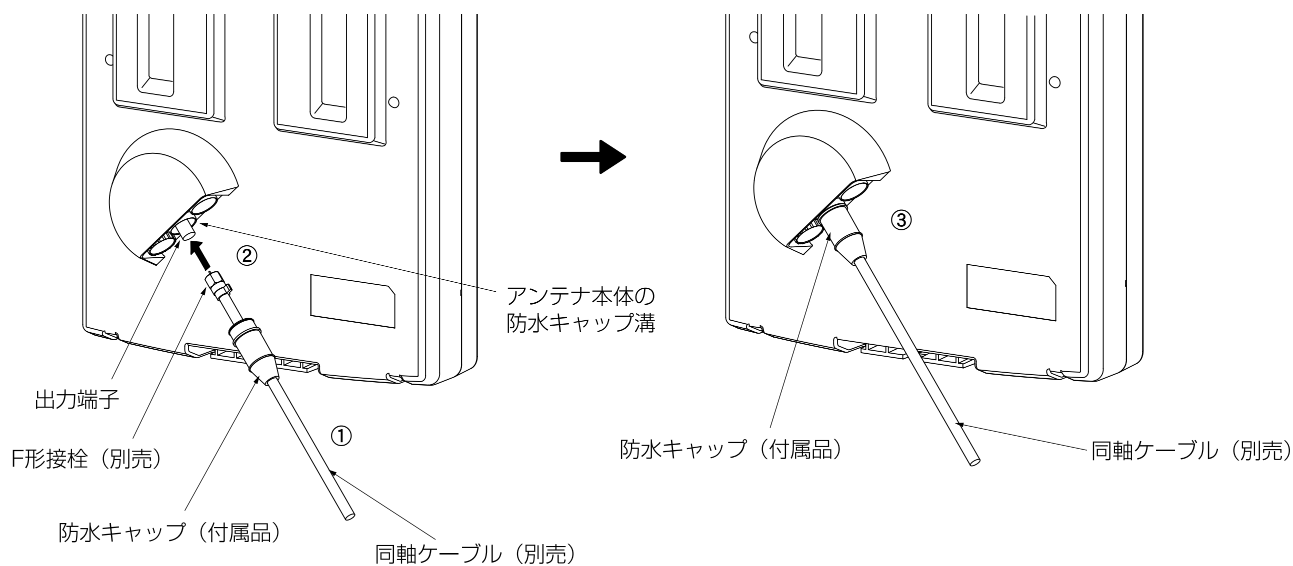
〈屋外で使用する場合〉

● 同軸ケーブルはできるだけ4Cまたは5Cケーブルのご使用をお勧めいたします。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品を別途お買い求めください。

①防水キャップ（付属品）は同軸ケーブルの先端を加工する前に通しておいてください。（周囲が低温時等、ケーブルを通しにくい場合は強く押し込んでください）

②同軸ケーブル先端にF形接栓を取り付けた後、アンテナ本体背面の出力端子にしっかりと確実に接続してください。
（接栓締付トルク　2N・m）

③F形接栓をアンテナ本体に接続した後、防水キャップ（付属品）をアンテナ本体の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んで接栓部を雨水などからカバーしてください。



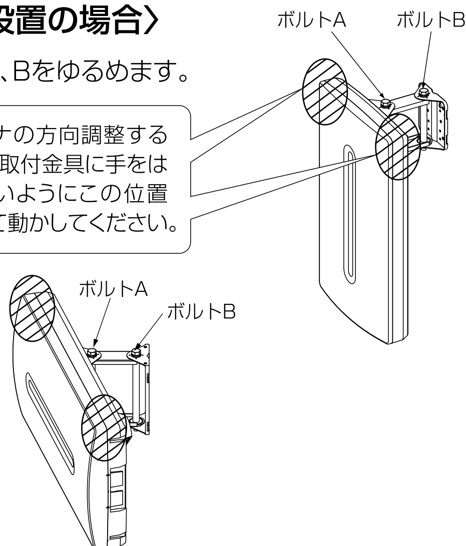
アンテナの方向調整

アンテナの方向調整は、実際に電波を受信して行いますので、一度仮にアンテナと地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーを接続してください。チューナーやテレビのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように平面アンテナの方向を調整します。レベルチェッカーなどの測定器を用いてアンテナの方向調整をする場合は、測定器を同軸ケーブルでアンテナに接続します。

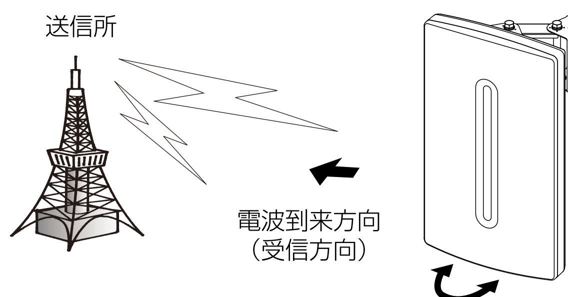
〈屋外設置の場合〉

①ボルトA、Bをゆるめます。

アンテナの方向調整するときは、取付金具に手をはさまないようにこの位置を持って動かしてください。

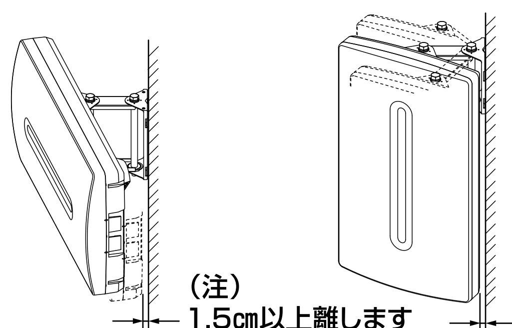


②「取付金具の位置図」を参考にして、平面アンテナを左右に動かし、受信レベルが最大になるようにアンテナの角度を調整します。



※壁面に取り付けたときに調整できるアンテナの角度は左図を参照してください。

③アンテナ側面が壁面から1.5cm以上離れていることを確認してください。



④ボルトA･Bをしっかりと強固に固定します。

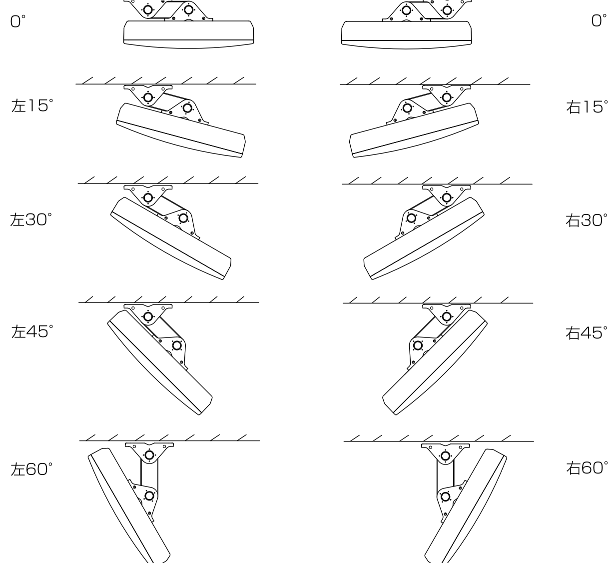
六角組ボルト（M10）締付トルク 9～10N･m

取付金具の位置図

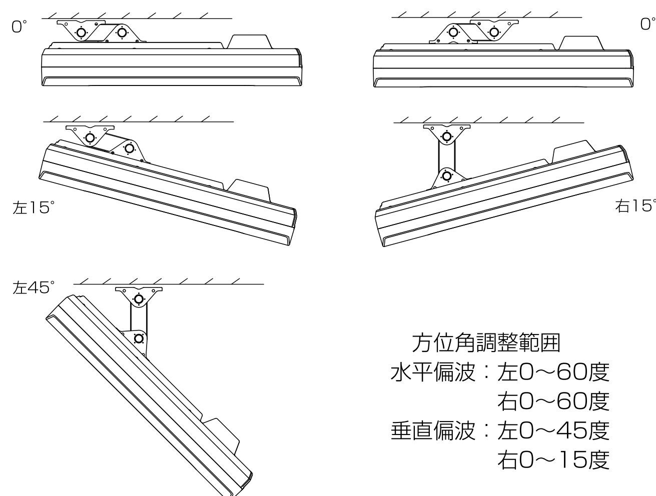
アンテナと取付金具を図のような角度で固定することで、アンテナをより安定させ、壁面からの突出が少ない省スペース設置ができます。

真上から見たときのアンテナと取付金具の角度

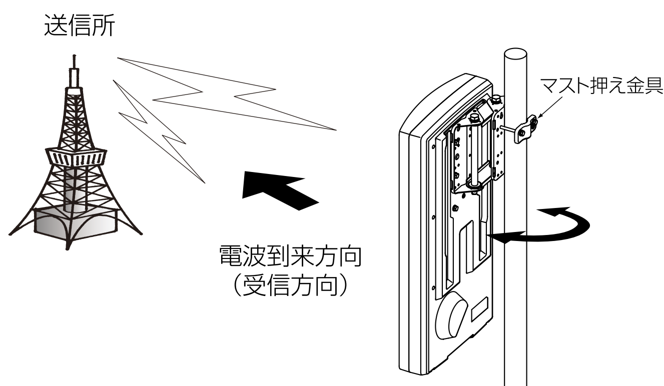
水平偏波の場合



垂直偏波の場合

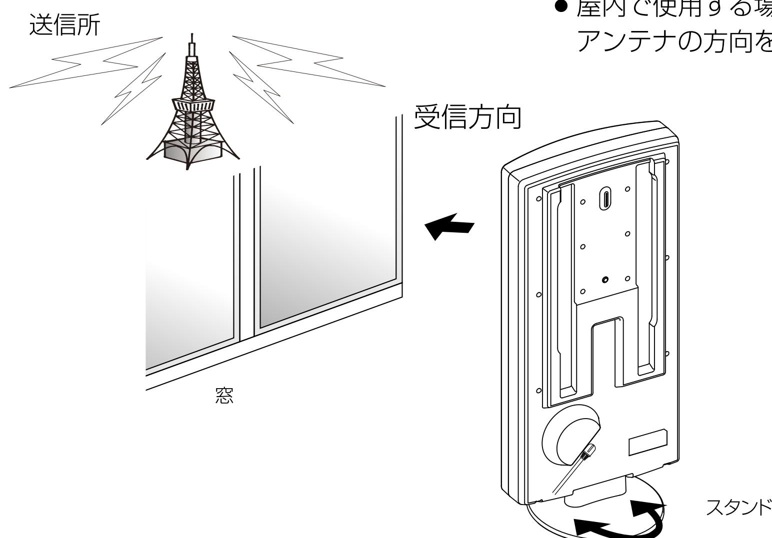


方位角調整範囲
水平偏波：左0～60度
右0～60度
垂直偏波：左0～45度
右0～15度



※マスト取付時はマスト押え金具のボルトをゆるめて、マスト押え金具からアンテナまでの全体を回して角度調整することもできます。

〈屋内設置の場合〉



● 屋内で使用する場合は、スタンドを利用して良好な受信ができるようにアンテナの方向を調整します。

ポイント
窓際などでアンテナの向きをいろいろかえながら最も良く受信できるアンテナの向きを探してください。
屋内に設置して良好な受信ができない場合は、ベランダなどの屋外に設置することをお勧めします。

〈こんなときは〉

平面アンテナの方向は、実際に電波を受信して、地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように調整します。地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定のレベル値に異常がある場合は、次のことをお確かめください。
受信レベルは60～90dBμVが目安です。アンテナレベルの目安はご使用の地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーの取扱説明書をご覧ください。

症　状	チェック項目	対　策
チューナーやテレビのアンテナ設定で、レベルが低い テレビ画面にブロックノイズがでる <ブロックノイズのテレビ画面>	電波到来方向にアンテナが向いていますか？	ご購入店でお住まい地域の送信局を問い合せるなど電波到来方向（送信所の方向）を確認してください。 近隣の建物等に反射した電波を受信できることもあります。
	電波到来方向に障害物がありませんか？	障害物のない状態で受信してください。 障害物を避けられない場合でも、アンテナの高さを50cm～1mくらい変化させると改善することがあります。アンテナの設置位置を変化させてみてください。
	電波が弱い	電波が弱すぎる場合は受信できません。

使用上のご注意

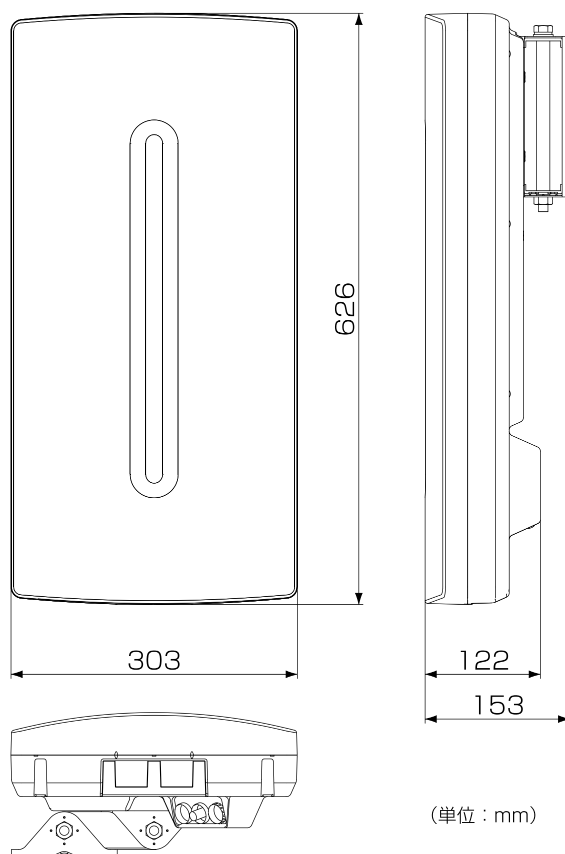
- このアンテナではVHF帯（ch.1～12）とUHF帯の53～62チャンネルは受信できません。
- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかまたは時々ブロックノイズがでるなど不安定な受信状態になることがあります。（このアンテナは地上デジタル放送に加え、従来のUHFアナログ放送も受信可能です。ただし、アナログ放送の受信レベルが低い場所では受信できない場合があります。）
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。（一般的にアンテナの設置位置が高くなるほど受信レベルが良くなります。）
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払い落としてください。その際、安全には十分注意してください。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- この製品にDC＋15Vは供給しないでください。故障の原因となります。

規格特性

品　名	地上デジタル放送用平面アンテナ
品　番	UAH900
受信周波数（MHz）	470～710(ch.13～52)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス（Ω）	75（F形）
利　得（dB）	8.2～9.8（標準値）
VSWR	2.5以下
前後比（dB）	16以上
半値幅（°）	75以下
耐風速（m/s）	45（注1）
適合マスト径（mm）	マスト：φ22～49 角柱：30×30～45×45 ステンレスバンド（別売）使用時：φ50以上
方位角調整範囲（°）	±60（水平偏波・壁面取付時）
寸　法（mm）	626（H）×303（W）×153（D） （取付金具含む）
質　量（kg）	2.8（アンテナ部）、1.3（取付金具）

（注1）耐風速は破壊風速です。
規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図



DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327(代)